

仁賀保金七郎 疫病神詫び証文 ステッカー

にかほきんしちろう
やくびょうがみわびしょうもん

玄関先に
貼付ください

全戸配布

仁賀保金七郎疫病神詫び証文でコロナ退散

新型コロナウイルスという疫病の世界的な流行は、私たちのこれまでの日常を激変させ生活様式や風物が様変わりしています。不安を抱えつつも、通信技術を生かしたりリモートでのやり取りや、新たな生活様式など、日々模索しながら臨機応変に対応し新たな経済活動、地域活動へ向かっています。

ちょうど200年前の江戸時代後期に疫病の流行とともに広まった「仁賀保金七郎疫病神詫び証文」。これは、仁賀保家の実在の人物の逸話（伝説）により疫病除けになるとして江戸時代の人々が無病息災への願いを込めた風習となりました。（『広報にかほ』7月15日号参照）逸話の中では「仁賀保」とつくところには疫病神（悪い流行り病）は近づかないと約束の印に差し出したものが「詫び証文」とされ、人々の書き写しにより広まりました。

仁賀保勤労青少年ホーム展示室（斎藤宇一郎記念館）では、この詫び証文の複製展示や現物展示を行い、多くの市内外の方々に観覧いただいています。入館記念にお配りしているステッカーを手にした方々より「離れて暮らす家族にも送ってあげる」などのお声をいただきました。いつの時代も家族や大切な人の無病息災を願う気持ちは変わらないものです。

「仁賀保」とは、中世からにかほ市を領土とした「仁賀保家」からきていますが、仁賀保家はもともとこの地（現在の市域ほぼすべて）の地名を取り、「仁賀保」を名乗りました。「仁賀保郷」とは「にかほ市」の語源でもあります。

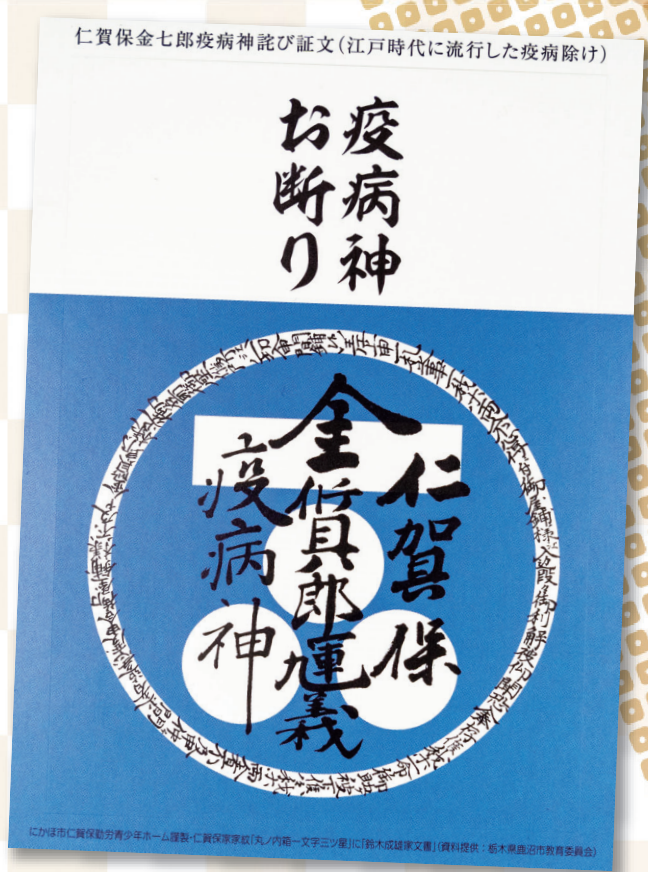
この証文はおまじないやお守りのようなものですが、「仁賀保金七郎」の武勇伝説と証文画像により、コロナに負けない、コロナ禍でもにかほ市から元気を発信するツールとして活用いただければ幸いです。

仁賀保金七郎疫病神詫び証文 データの活用促進

円形証文の画像データを商品ラベル等に活用してみませんか？

《申請手順》

- ① 仁賀保勤労青少年ホームに連絡
- ② 画像データ使用申請書を提出
- ③ 画像データを配布



▲今号と同時配布の仁賀保金七郎疫病神詫び証文ステッカー

仁賀保金七郎グッズ、絶賛販売中！



▲エコバック 1,000円

▲ポストカード 100円

▲手ぬぐい 1,000円

※全て税込み金額です。

《取り扱い施設》

- ① 仁賀保勤労青少年ホーム（斎藤宇一郎記念館）
- ② 白瀬南極探検隊記念館
- ③ 象潟郷土資料館

問 仁賀保勤労青少年ホーム ☎ 35 - 4711

発行／にかほ市役所 まちづくり推進課
 〒018-0192
 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田一番地
 ☎ 0184-437510 (直通)
 電子メール info@city.nikaho.lg.jp
 ホームページ https://www.city.nikaho.akita.jp

